

2 取り組みを重点化する

＜研修の位置付け＞

具体的な取り組みが多方面に展開しすぎたり、取り組みがあいまいになったりすることを防ぐためには、それぞれの取り組みに優先順位を付け、重点化した取り組みを考えることが大切です。

ここでは、学力向上を目指している学校を想定して、取り組みを重点化する研修を、実行策検討シート（p. 14）を使って進める事例を紹介します。

【目 的】学力向上に向けて、取り組みに優先順位を付け、重点化した取り組みの傾向を共有し、授業改善に生かす。

【到達点】学力向上に向けて、重点化した取り組みを全体で共有する。

【準備物】模造紙（**実行策検討シート**（p. 14）を拡大模写したもの） 付箋紙
マーカーペン

【進め方】（60分）

1 取り組みの重点を考える

- (1) 個人 学力向上についての取り組みを、1枚の付箋紙につき一つ書く。（できる
(10分) だけ多くの付箋紙に書く。）
- (2) グループ ① 着手容易性（簡単で取り組みやすい）と効果性（取り組むことによっ
(30分) て成果が得られやすい）を考えながら、グループで協議し、模造紙に付
箋紙を1枚ずつ貼る。
② 付箋紙の意見を共通性で分類して集まりをつくる。
③ 取り組みに優先順位を付ける。さらに、以下の視点も加えて協議する。
ア すぐできる 今年度できる 来年度できる
イ 個人でできる 学校でできる 地域の協力でできる
ウ 人的資源 物的資源 資金的資源 情報的資源 ネットワーク
資源
④ 重点化した取り組みを三つに絞り、模造紙の「重点化した取り組み」
の欄に書く。
- (3) 全体 ① 模造紙を掲示し、グループごとに重点化した三つの取り組みについ
(15分) て、優先順位を付けた根拠を説明する。
② 一つのグループの説明が終わるごとに、質疑応答を行う。
③ 全てのグループの説明と質疑応答が決まったら、進行役が、各グルー
プから共通して出された取り組みの傾向を指摘し、多くの教職員がそれ
らを重要であると考えていることを確認する。

2 個人で振り返る

- (5分) 研修の自己評価をし、研修で共有した学力向上に向けての重点化した取
組みを基に、日常の取り組みの中でどのように実施していくのか、具体的
に書く。

実行策検討シート

	着手容易 (着手容易性) 着手困難		
			
効果大 (効果性) 効果小 			
重点化した取り組み 1 2 3			